

平成21年度小野市（普通会計）

バランスシート（小野市の資産と負債の状況）

平成21年度末の市民1人あたり

資 産	157万7千円	(対前年度比 1万1千円減)
負 債	35万円	(対前年度比 1万1千円減)
純 資 産	122万7千円	(対前年度比 同額)

参考	兵庫県民1人あたり	
	資 産	131万円
	負 債	90万円
	純 資 産	41万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成21年度末のバランスシートは、総務省方式改訂モデルで作成した結果、取得、建設した土地、建物などの資産合計は787億803万円となりました。建物などの減価償却や基金の取崩し、売却可能資産評価額の減等により4億249万円減っています。一方、負債合計は174億6,310万円となり、地方債の減、退職手当引当金の減などにより、前年度から5億3,080万円減りました。資産から負債を差し引いた純資産は612億4,493万円となり、前年度から1億2,831万円増えました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が679億7,236万円、売却可能資産が13億3,236万円で、公共資産合計で全体の88.1%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの生活インフラ・国土保全費が380億4,810万円、小・中学校の用地や校舎などの教育関係費が190億5,590万円とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職手当引当金等を合わせた固定負債が154億9,228万円、流動負債として地方債の22年度償還予定額が16億3,620万円となっています。

これを市民1人あたりのバランスシートでみると、市民1人あたりの資産は157万7千円、負債は35万円となり、純資産は122万7千円となりました。

平成22年9月2日

小野市総務部財政課